令和8年11月後半分青果物使用品名と産地（11/16～11/30）

～生産（地）の状況～

根菜類は北海道産が主流である。じゃがいも・玉ねぎは豊作で，落ち着いた単価で動いている。じゃがいもは，現在使用しているメークインは今月いっぱいで，12月からJA士幌のホッカイコガネを2月まで使用する予定である。2～3月は離島物の丸じゃがが入る予定だが，少なめということなので，産地の協力で冷蔵して3月いっぱいまで使えるように，打ち合わせをして進めていきたい。現在使用中のメークインについては，来週からはL玉を中心とした提供となる。人参は例年この時期は，本州産や九州産を使用するが，天候の影響で遅れ気味なので，北海道の残量を今月いっぱいは使用する。大根は，県内の小国，蘇陽産を中心に出荷している。秋大根になり大きさは2Lが主力で，単価も下がってきている。12月になると益城，大津産が出てくる。品質のよい県内産のものが提供できる。きゅうり・ピーマン・なすは，平坦地の熊本県産の出荷が始まっている。夜温が下がったことで，少し不安定な感じもある。ピーマンは熊本市産のものが順調に出荷されており，数量も増加傾向。キャベツ・白菜・レタスも11～12月の出荷は順調である。ほうれん草は，9～10月の天候の影響を受けて，露地物については根っこがうまく育っていない状況があり，2～3週間遅れそう。11月末～12月始めには本格的に出回る見込みである。小松菜も2週間ほど遅れ気味だが，数量は問題ない。

みかんは県内産の早生が出始めている。L・M中心で昨年より若干少なめだが順調といえる。りんごは大玉傾向。“ぐんま名月”は，長野産にかわって青森産の入荷がスタート。柿は，福岡産の富有柿L・Mが入っている。若干小さめだが，朝の冷え込みで味もよくなる。

No	品名	産地
1	じゃがいも	北海道産
2	洗いさといも	熊本県・宮崎県・大分県産
3	さつまいも	熊本県産
4	人参	北海道産
5	キャベツ	熊本県産
6	玉ねぎ	北海道産
7	もやし（小）	**熊本市産**
8	もやし（大）	大分県産
9	ピーマン	**熊本市産**
10	ミニトマト	熊本県産
11	胡瓜	熊本県・長崎県産
12	ごぼう	青森県産
13	白ネギ	熊本県・九州・長野県・北海道産
14	小ネギ	熊本県・福岡県産
15	ほうれん草	**熊本市産**
16	チンゲン菜	熊本県産
17	小松菜	**熊本市産**

No	品名	産地
18	にら	熊本県・宮崎県産
19	パセリ	熊本県・九州産
20	セロリ	福岡県・長野県産
21	洗いレンコン	**熊本市産**
22	白菜	熊本県・九州・長野県産
23	大根	熊本県産
24	なす	熊本県産
25	にんにく	青森県産
26	生姜	熊本県・長崎県産
27	えのきだけ	長崎県産
28	本しめじ	福岡県産
29	エリンギ	長崎県産
30	水菜	**熊本市産**
31	みかん	**熊本市**・熊本県産
32	りんご	長野県・青森県産
33	柿	福岡県産

※産地は，天候等の影響で変更になる場合があります。